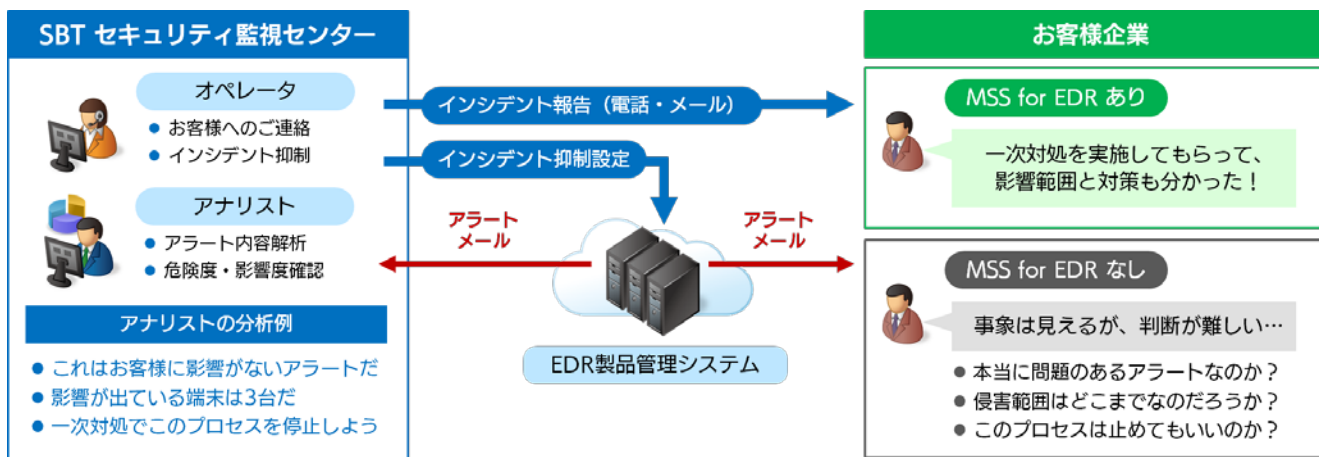


攻撃検知から分析と対策立案まで 24 時間 365 日体制で運用を支援

～エンドポイントセキュリティに対応した MSS の提供を開始～

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿多 親市、以下 SBT）は、サイバーリーズン・ジャパン株式会社の提供する人工知能（AI）を活用したエンドポイント型サイバー攻撃対策プラットフォーム『Cybereason』を用いた、エンドポイントのセキュリティシステムを 24 時間 365 日監視・運用し対策を行うサービス『MSS for EDR』の提供を開始したことをお知らせします。



MSS for EDR イメージ図

2017年11月に発表された「サイバーセキュリティ経営ガイドライン 2.0」において、新たに「攻撃の検知」や「サイバー攻撃を受けた場合の復旧の備え」といった項目が追加されたことが示す通り、昨今は侵害されることを前提とした対策や、企業・組織が被害を受けた際にいかに素早くビジネスを再開できるか、また、攻撃への抵抗力を強化するサイバーレジリエンス（回復力）が重要とされてきています。

そのような中 SBT では、インシデント発生時に原因解析や影響範囲の調査を行う CSIRT 構築支援サービスの提供をはじめとし、お客様のセキュリティを統合的に監視し運用や対策を行うマネージド・セキュリティ・サービス（MSS）の強化を行っており、今回、パソコン等の末端の検知を行う『EDR（Endpoint Detection and Response）』を取り入れ MSS のラインナップを拡充しました。

MSS for EDR は、お客様の代わりに SBT のセキュリティ専門家が 24 時間 365 日、Cybereason が検知した、問題のあるアラートの適切な処理や感染端末の特定、不審なプロセスの停止処理、攻撃対策の立案などを行います。また Cybereason での検知に限らず、お客様からの申告や他のセキュリティシステムで検出したアラートをもとに調査や対応を行います。

この度の MSS for EDR のサービス提供開始に伴い、サイバーリーズン・ジャパン株式会社 執行役員社長 茂木 正之氏より以下のコメントをいただいております。

サイバーリーズン・ジャパンは、ソフトバンク・テクノロジー様が Cybereason を用いた MSS for EDR の提供を開始されることを心より歓迎致します。

現在のセキュリティ脅威は日々進化及び巧妙化しており、サイバー攻撃を受けた後の対策の強化・導入がビジネスの継続性の鍵となっております。

ソフトバンク・テクノロジー様の提供される MSS for EDR サービスに、振る舞い情報と AI を利用する Cybereason の技術を組み合わせていただくことで、お客様に包括的なセキュリティ対策サービスをご提供いただき、またお客様においては最適なセキュリティ対策環境を構築いただけると確信しております。

サイバーリーズン・ジャパンは、サイバーセキュリティをさらに強化すべく、未知のマルウェア、ファイルレスマルウェアの侵入検知、ブロックを可能にする次世代アンチウイルス(NGAV)を発表いたしました。

今後もサイバーリーズン・ジャパンはソフトバンク・テクノロジー様とともに、国内のお客様環境に最適なサイバーセキュリティを提供すべく取り組んでまいります。

サイバーリーズン・ジャパン株式会社
執行役員社長
茂木 正之

SBT は今後も、サイバーレジリエンスの観点から、各種セキュリティ診断サービスや侵入防御ソリューションの提供に加えて、侵入後の検知や対処を可能にするエンドポイント型の対策や MSS、サイバー攻撃を想定した社内体制を強化する CSIRT 構築支援まで、お客様の情報資産保護や事業継続をワンストップでサポートいたします。

■MSS for EDR の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.softbanktech.jp/service/list/managed-security-service/mss-for-edr/>

報道関係者様向け お問い合わせ窓口	ソフトバンク・テクノロジー株式会社 コーポレートコミュニケーショングループ (吉田、與儀) TEL : 03-6892-3063 / Email : sbt-pr@tech.softbank.co.jp
----------------------	--

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。